

2015年9月5日 於京都教育大学
第36回社会言語科学会研究大会

日本生育外国人児童の作文力の発達に 関する調査研究 —「産出量・文の複雑さ・内容」の分析を 通して—

齋藤ひろみ(東京学芸大学教育学部)
菅原雅枝(東京学芸大学国際教育センター)
西島道(東京学芸大学非常勤)
工藤聖子・李佳耀(東京学芸大学教育学研究科院生)
鳶田陽子(日米会話学院日本語研修所)

H26-29 科学研究費(基盤B) 課題番号26284071 代表:東京学芸大学齋藤ひろみ
研究課題:地域・家庭の言語環境と日本生育外国人児童のリテラシー発達に関する調査研究

1. 研究の目的

日本生育外国人児童のリテラシー発達の様相を、日本人児童・異なる環境にある児童集団との比較を通して検討する。

本調査

【本研究の全体像】

これまでの調査

A小学校

外国人児童割合: 51%
横断調査(2014)

日本生育外国人児童(F)



日本人児童(J)



B小学校

外国人児童割合: 70%
縦断調査(2008~2013)

日本生育外国人児童(F)



日本人児童(J)

2. 研究背景

(1) リテラシー

- ・「知識と可能性を発達させ、社会に参加し、自らの目標を達成するための力(OECD2007)」と定義
- ・本調査で扱う「全校遠足」の作文⇒見聞きした経験・経験を通して考えたことをテキストを用いて伝達する力としてリテラシーが反映

(2) 外国人児童生徒のリテラシーの実態

- ・中島(2000)、生田(2006)
思考に関わる日本語力は母語の読み書きの力の発達と相関あり
- ・齋藤ら(2014)他:日本生育外国人児童の縦断調査

← B小学校の結果

3. 研究方法

3.1 調査協力校 (A小学校)

外国人集住地域の学校 全児童(約320名)

外国人児童の割合: 51%

民族背景: ベトナム50%、中国30%

他(カンボジア、ラオス、フィリピン、タイ、ブラジル、アメリカ)

家庭内言語 : 母語と日本語 50%弱

母語 30%強 日本語 20%強

※日本生育外国人児童 : 約85%

家庭内に日本語・日本文化以外の言語・文化がある児童で日本生まれ、あるいは4歳未満で来日

3.2 分析対象の作文

- ・「全校遠足」をテーマとする作文

※教員による指導なし

- ・2年生～6年生の作文

※1年は書字能力に課題があるため分析対象とせず

☆異なる児童からなる学年間の違い＝横断調査

対象作文 221作文
日本生育外国人児童作文(F) 100
日本人児童作文(J) 121

学年	F	J	計
2	22	23	45
3	14	24	38
4	14	21	35
5	29	31	60
6	21	22	43
計	100	121	221 ⁵

比較対象校：B小学校

外国人児童の割合は70%

縦断調査

- 「全校遠足」の作文
- 2007-08年度入学児童
(F・J)47名の2～6年
- F児童の民族的背景

ベトナム60% 中国15% カンボジア15%

その他(ラオス、フィリピン)

入学年	F	J	計	作文
2007	17	7	24	120
2008	16	7	23	115
計	33	14		
作文数	165	70		235

3.3 分析方法

(1) 計量的分析 産出量・文の複雑さ

産出量: 有効文字数

文の複雑さ: 1文あたりの平均文節数
複文割合
1複文あたりの述語数

(2) 内容の分析

(ルーブリック評価)

3名(日本語教師)が
5点満点 評価の平均値

(3) エピソード分析

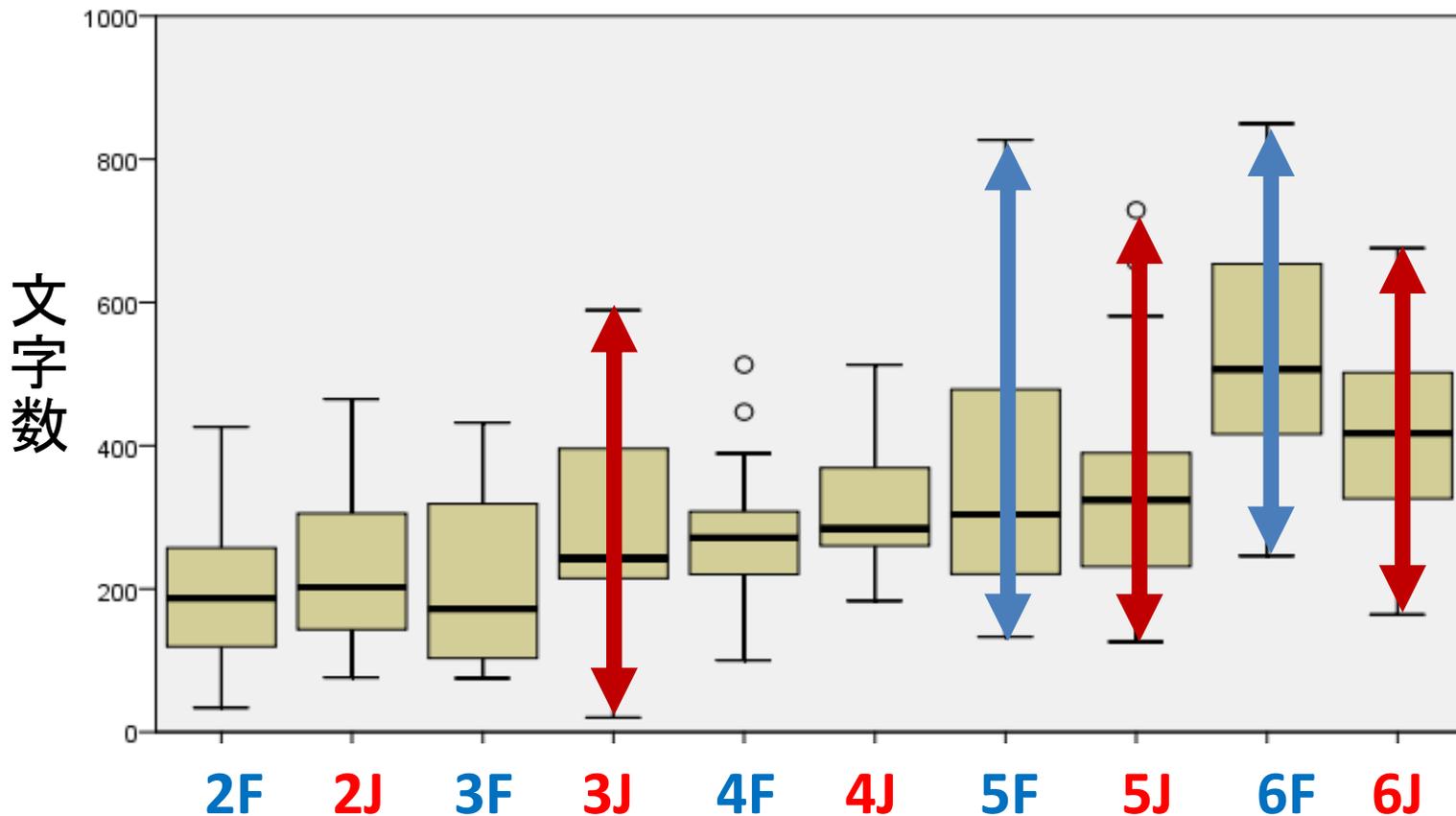
出来事作文
≡「記録文」
日本国語教育学会
(2001)

ルーブリックの評価項目	
構成 関連 項目	①文と文のつながり<結束性)
	②段落と文章構成
内容 関連 項目	③出来事
	④状景描写
	⑤心情や考え
総合	⑥バランス

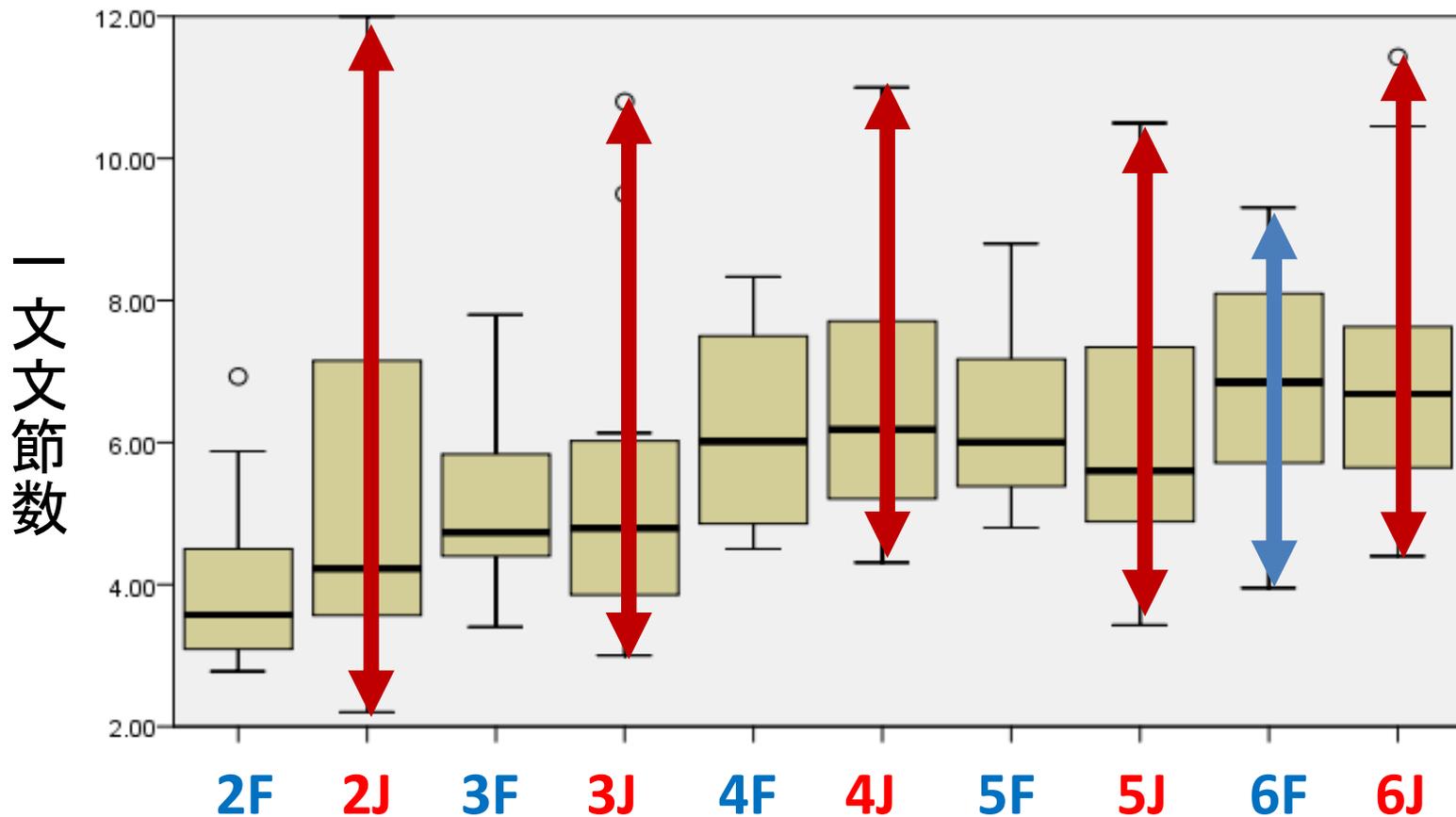
4 結果1 計量分析 (1)産出量・文の複雑さの平均

		文字数	一文文節数	複文割合	複文述語数	漢字数
2年	F	197.73	3.98	0.41	1.45	5.55
	J	224.09	5.58	0.52	1.87	6.30
3年	F	214.07	5.02	0.57	1.47	20.14
	J	294.75	5.14	0.58	1.80	30.50
4年	F	279.71	6.13	0.64	1.71	33.29
	J	315.43	7.32	0.62	3.02	32.57
5年	F	355.52	6.33	0.64	2.11	67.14
	J	335.77	6.07	0.66	1.89	61.10
6年	F	575.67	5.88	0.72	2.43	96.76
	J	407.77	6.95	0.71	2.13	79.14

4.1 (2) 文字数のばらつき

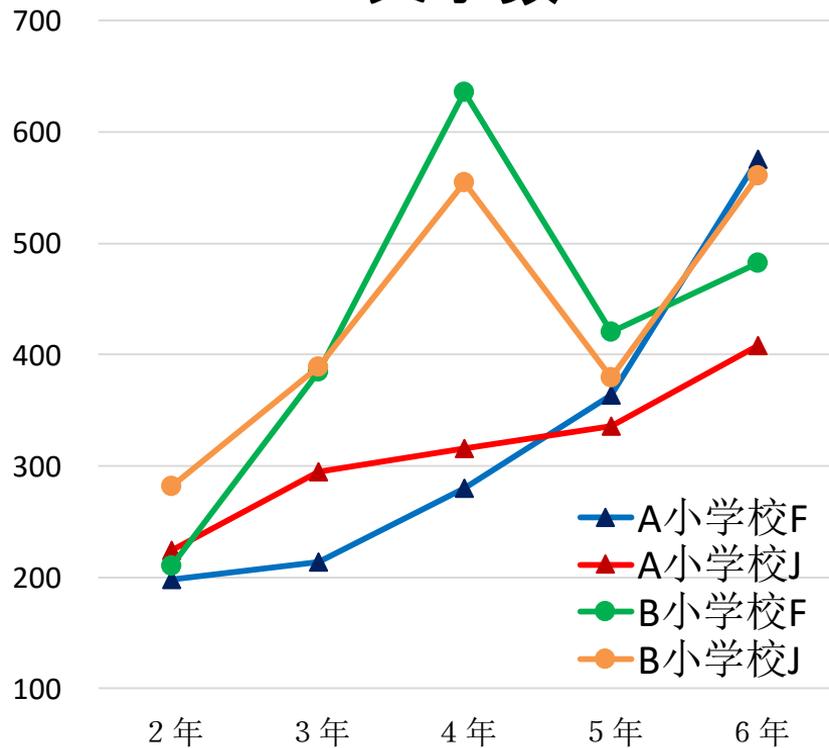


4.2 (3) 一文文節数のばらつき

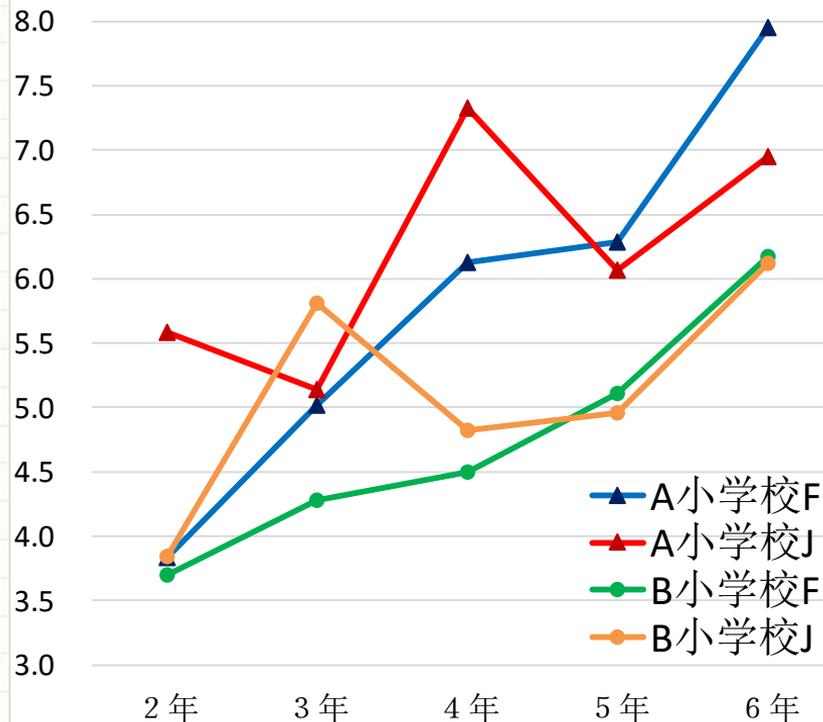


4.1 (4) B小学校との比較

文字数



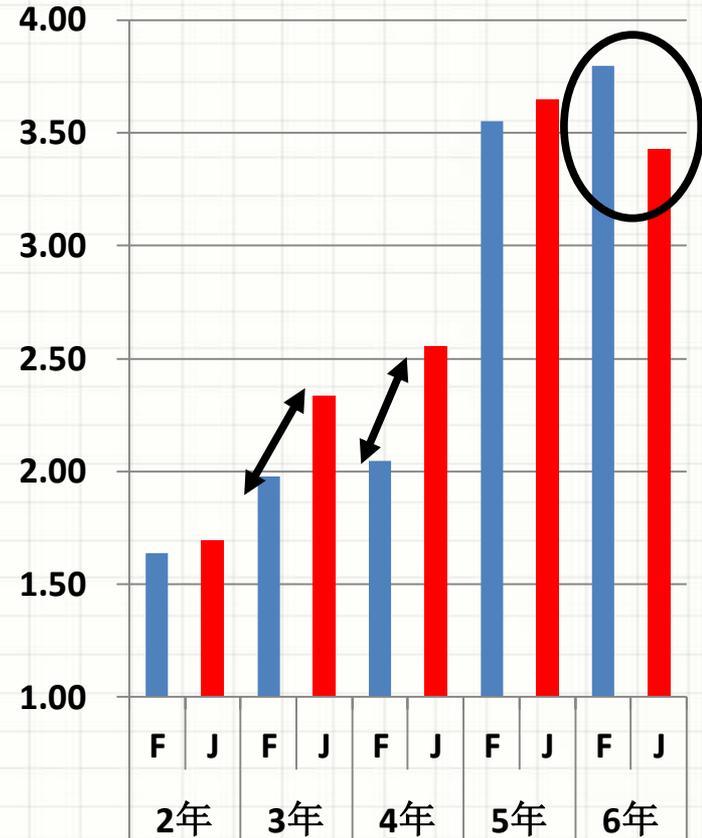
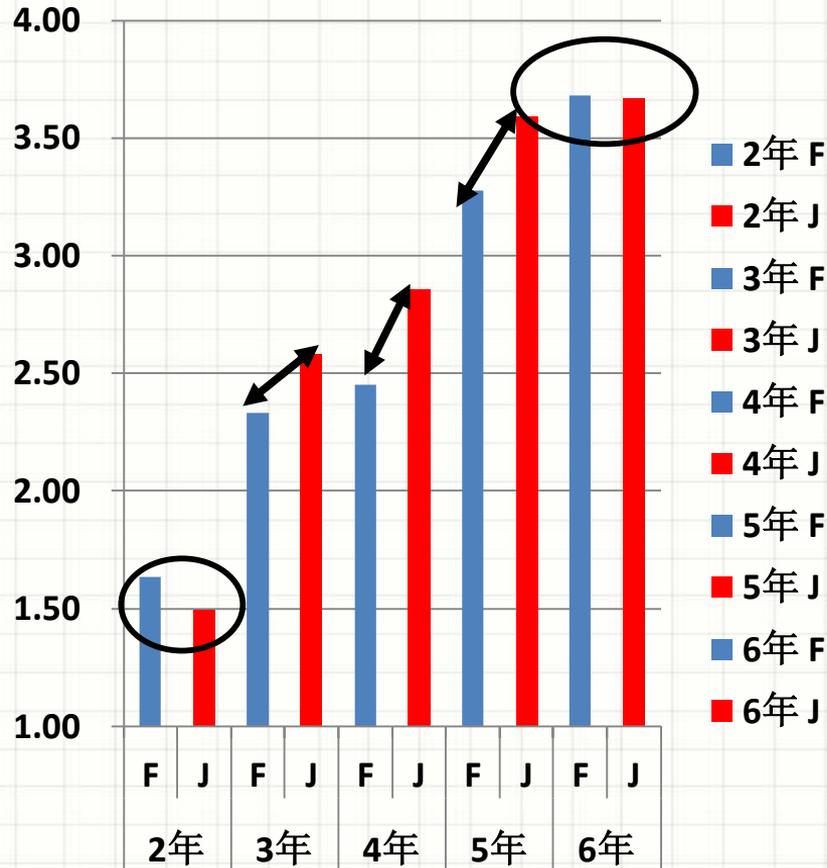
一文文節数



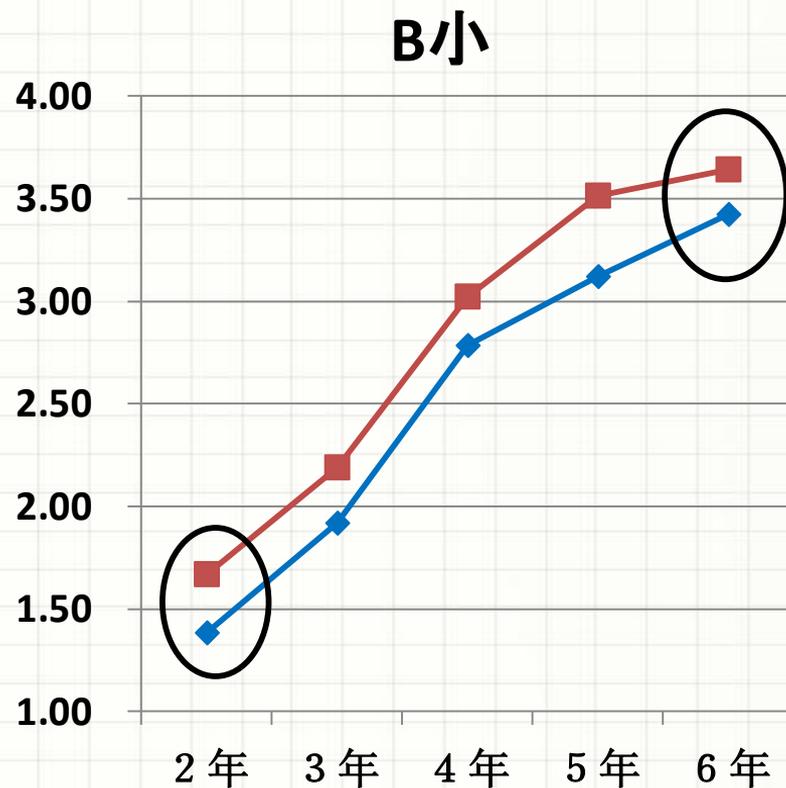
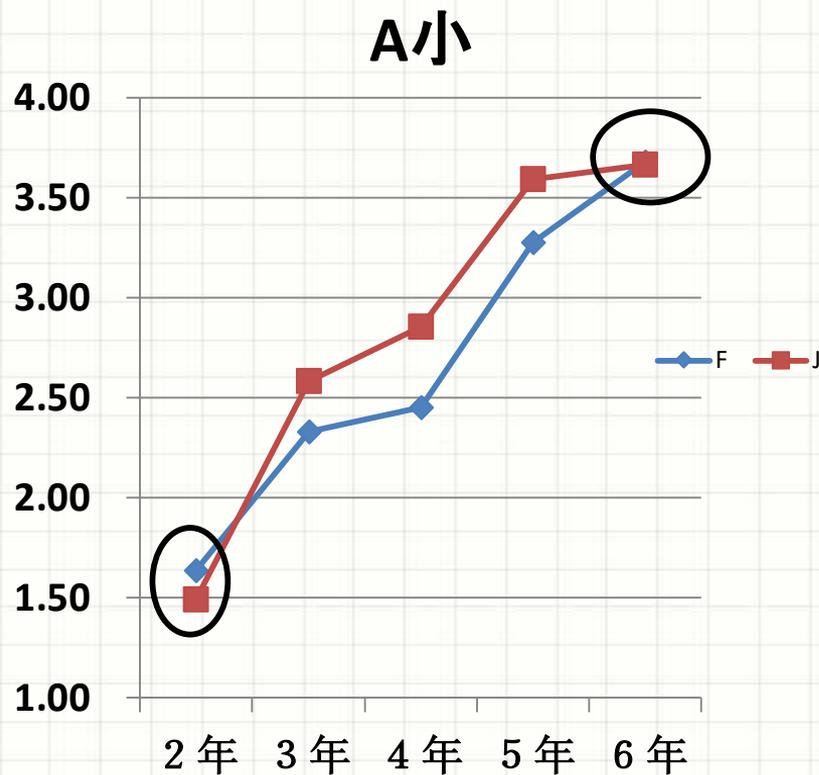
4 結果2 内容分析 (1) ルーブリック評価・平均点

		文章構成			内容		
		文と文	段落	出来事	描写	心情	
2年	F	1.64	1.52	1.50	1.64	1.76	
	J	1.49	1.48	1.57	1.70	1.90	
3年	F	2.33	2.14	2.00	1.98	2.52	
	J	2.58	2.19	2.07	2.33	2.54	
4年	F	2.45	2.19	2.17	2.05	2.55	
	J	2.86	2.65	2.51	2.56	2.73	
5年	F	3.28	3.24	3.25	3.55	3.47	
	J	3.59	3.48	3.45	3.65	3.60	
6年	F	3.68	3.58	3.61	3.80	3.91	
	J	3.67	3.30	3.18	3.42	3.52	

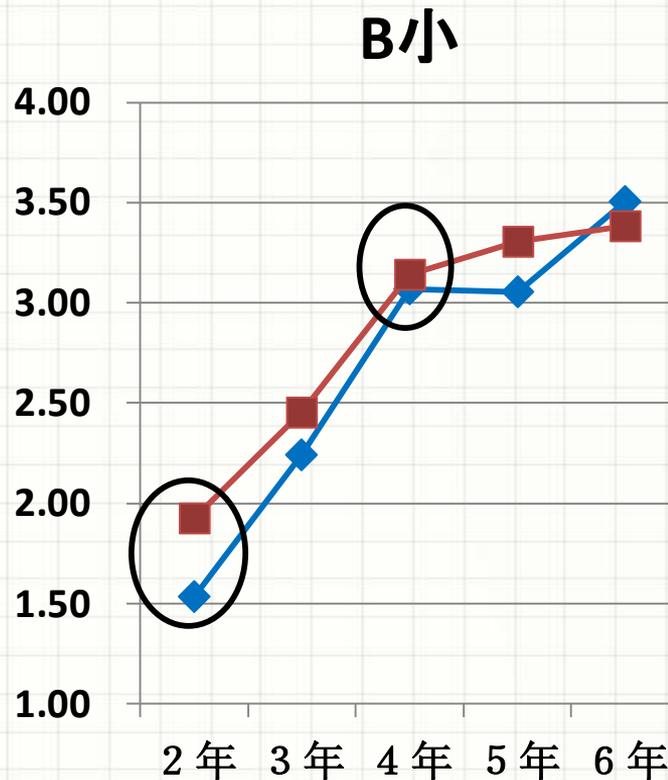
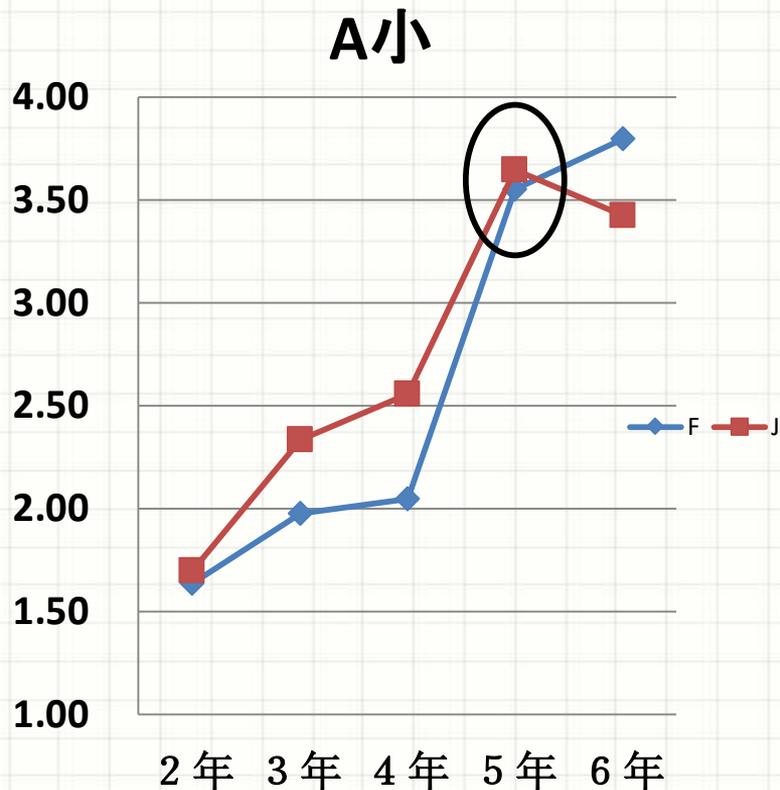
4.2 (2)「文と文のつながり」と「状況描写」



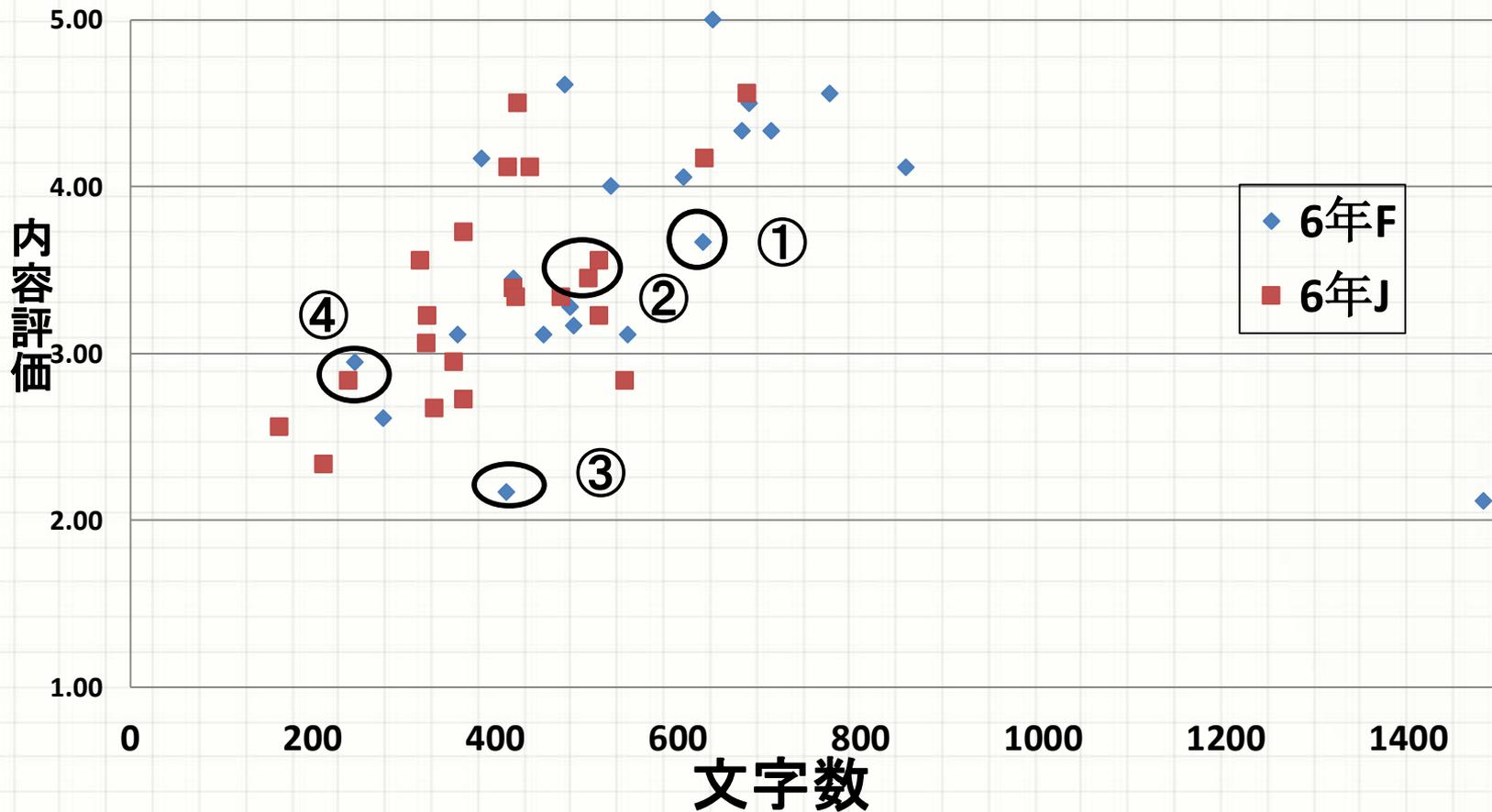
4.3 (3) B小学校との比較 「文と文のつながり」



4.2 (3) B小学校との比較 「状況描写」



4.2 (4) 散布図「文字数×内容評価」(6年生)

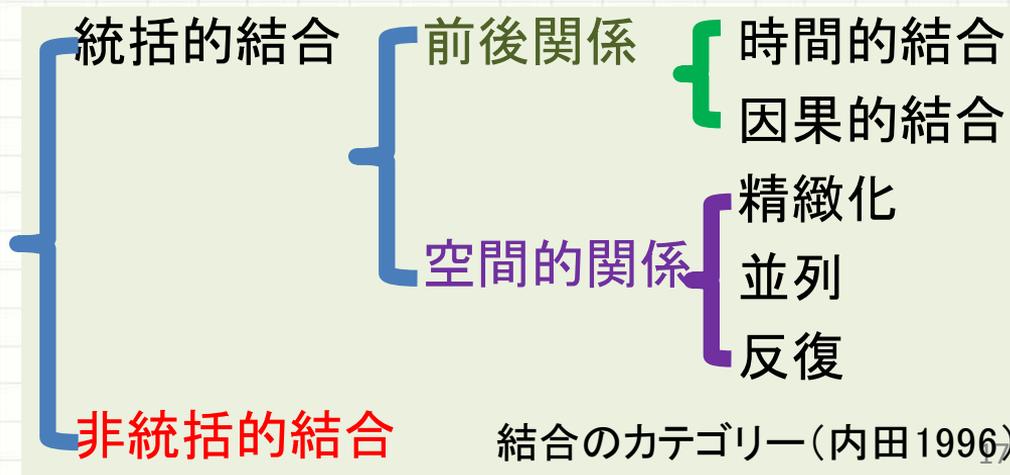


4 結果3 (1)エピソード分析の方法

- 1) テーマ提示部(TP)・エピソード部(EP)・終結部(CP)の有無
⇒文章構成の分析
- 2) エピソードの階層化の有無とエピソード間の結合関係(下図)
⇒内容構成の分析

エピソード: 場面で区切られる経験的出来事

- 3) アイディア・ユニット数
とその結合関係
⇒内容的多様性の分析
アイディア・ユニット:
「何がどうした」
という命題の単位



4.3(2)作文1(F) 文字数:628字 一文文節数:8.05 内容評価:3.67

TP/EP/CP	EP	EP間の関係	ep	ep間の関係		センテンスADI	IU数	前の文との関係
TP					五月二十三日〇〇小学校思い出に残る第一回の全校遠足。	D	1	
EP	EP1		t		私は、全校遠足に向けて/、一年生のペアと仲良くするのを/がんばりました。↓	A	2	
			ep1		朝登校時間に、私の一年生のペア〇〇君に会ったら/、おはようや手をふったり/いろんなあいさつをして/、ペアと仲良くなりました。	A	4	
			ep2	時間的結合	それが、朝の登校時間・下校時間会ったりした時は/、必ずあいさつするようになりました。	A	2	
					〇〇君とあいさつをしていくうちに/、全校遠足も楽しみになってきました。	I	2	精緻化 →
			ep3	時間的結合	毎日、あいさつをかわしていくうちに/、全校遠足、前日になりました。	D	2	
					ますます、遠足が楽しみになって/その日は、あまりねれませんでした。	D	2	精緻化 →
			EP2	時間的結合		そして、ついに全校遠足当日になりました。	D	1
			私は、今までのあいさつで/仲良くした事で/遠足も楽しくなりました。	I	3	精緻化 →		
	EP3	無		駅に向かっていてる間、/〇〇君とどんな話をしていたか/分からなくて/、駅に向かっていてる間/は無言でした。	D	5		
				でも私の前のペアの〇〇さんと〇〇君の会話を聞いていると/、私もどんな話をすればいいか/分かってきて/、一緒に何を話しました。	A	4	精緻化 →	
	EP4	時間的結合		電車に乗って歩いていたら/あつというまに〇〇公園につきました！	D	2		
	EP5	時間的結合			最初に遊んで/ゲームは、自然深そうビンゴでした。	D	2	
				自己しょう介をして/ビンゴをはじめました。	A	2	精緻化 →	
				そのペアが〇〇さん〇〇ちゃんペア〇〇さん〇〇君ペア〇〇さん〇〇ちゃんペアと一緒に協力して/ビンゴをクリアしました。	A	2	時間的結合 ↓	
				その時は楽しかった！/つていう感情になりました。	I	2	精緻化 →	
	EP6	時間的結合			そして、一年生と六年生との大縄をやりました。	A	1	
				ほとんどの六年生が連続でとんでいたので/、良かったです！	I	2	精緻化 →	
	EP7	時間的結合			昼ご飯の時は盛り上がりながら/食べれたので/、楽しい全校遠足ができました！	I	3	

4. 3(2) 作文2(J) 文字数: 502 一文文節数:4.64 内容評価:3.44

わたしは、5月23日に全校遠足へ行きました。今年は初めてペアで活動しました。一年生と歩きながら行きました。一年生はつかれていたけど、がんばっていました。わたしは、一年生と初めての全校遠足なので、楽しい遠足にしてあげたいと思いました。

遠足当日は、雨がふらなくてよかったです。一年生は、電車の中でとても静かでえらいなと思いました。〇〇公園についてからまず、ビンコをしました。まず、4組のペアをみつけて、じこしょうかいをしました。その4つのペアと行動しました。次に、虫とみどりと黄色葉っぱを見つけました。その次に、きれいな花と虫にくわれた葉っぱを見つけました。さいごに、カメを見つけました。みんな楽しそうにしてくれて良かったです。次に、ピクニック広場に行って、しっぽ取りをしました。一年生がとっても楽しそうにしていました。その次に、大なわをしました。これも一年生が楽しそうにできてよかったです。大なわの後に昼ご飯を食べました。一年生が「やったー」とよろこんでいました。遠足の帰り一年生はととてもつかれていました。

わたしは、全校遠足に行って、一年生ととっても仲良しになれました。これからも、一年生と仲良くしていきたいです。ペア活動の遠足とっても楽しかったです。全校遠足じっこう委員ありがとうございました。

4.3 (2) 作文2(J)

遠足当日は、雨がふらなくてよかったです。

一年生は、電車の中でとても静かでえらいなと思いました。

〇〇公園についてからまず、ビンコをしました。

まず、4組のペアをみつけて、じこしょうかいをしました。その4つのペアと行動しました。次に、虫とみどりと黄色葉っぱを見つけました。その次に、きれいな花と虫にくわれた葉っぱを見つけました。さいごに、カメを見つけました。みんな楽しそうにしてくれて良かったです。

次に、ピクニック広場に行って、しっぽ取りをしました。一年生がとっても楽しそうにしていました。

その次に、大なわをしました。これも一年生が楽しそうにできてよかったです。

大なわの後に昼ご飯を食べました。一年生が「やったー」とよろこんでいました。

遠足の帰り一年生はとてもつかれていました。

EP1

EP2

EP3

EP4

EP5

EP6

EP7

4.3 作文3(F) 文字数:412 一文文節数:31.67 内容評価:2.17

EP1

小学校生活最後の全校遠足は全校遠足だとは思えなかったけど／一年生とたのしく「自然をさがそうよ」ビンゴをできて／一年生ともっとなかよくなれて／はじめはなにもはなさなかったり／あまり仲よしじゃなかったけど／こんかいの全校遠足で一年生となかよくできて／昼ごはんのときもなかよくはなせたし、／しぼとりでたのしくあそんだりできて／仲がふかまたと／思うし、／大なわのときは2人で大なみをとんだときは／できなかったけど／小なみのときはいきがぴったりで／とんでできたから／やぱりたのしくできたと思う。

並列

たぶん全校でいしょにかつどうしてたら／一年生ともそんなに仲よくなれないかもしれないけど／こんかい一年生と六年生でかつどうしたから／いつものりたのしい全校遠足になたと／思うし、／いしょのペアじゃない人もなかよくなれたし／やぱりたいへんだったけど／そのたいへんさで一年生となかよくなれたから／一年間やていけると／思う

EP2

つぎいしょに活どうするときに／きたら／ちゃんとめんどうをみたり／たのしいしょにあそびたい。

4.3 作文4(J) 文字数:239

一文文節数:6.75

内容評価:2.83

TP

五月二十三日全校遠足で〇〇公園に行きました。小学校最後の遠足だったのでいままでよりもたくさん楽しみました。

EP1

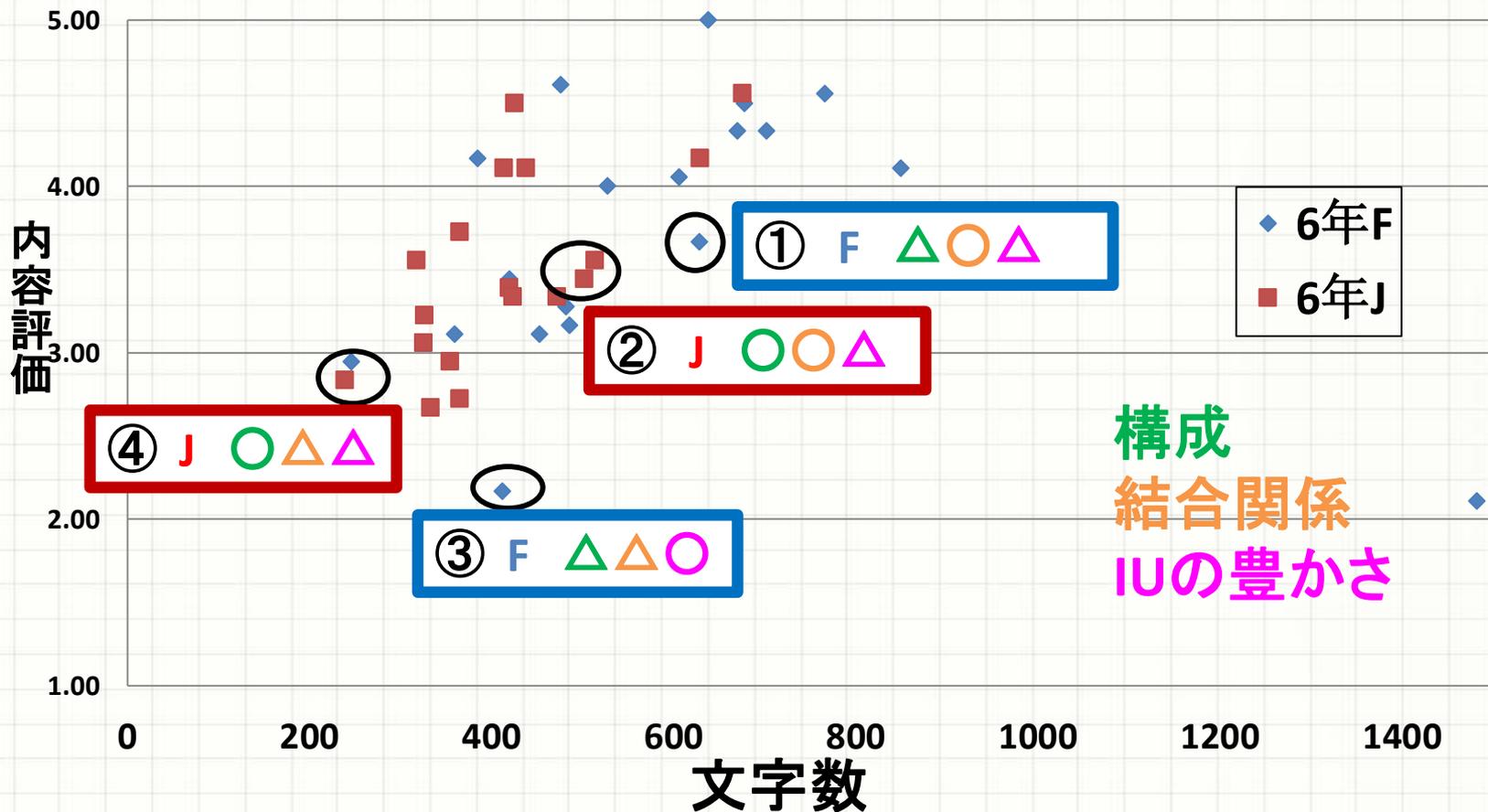
六年生は一年生、五年生は二年生、四年生は三年生とペアを組み楽しくペアで遠足に行けました。そこでぼくは、出来たことと出来なかったことがありました。

出来たことは、一年生のペアを迷子にしなかったことです。遠足中ほとんど手をはなさないようにして行動しました。出来なかったことは、ペアの一年生に自分から接きよ的にしゃべらなかつたことです。

CP

これから一年間、一年生と楽しく学校生活を送りたいです。

4.3 (3) 3つの分析結果による特徴



5 まとめと今後の課題

日本生育外国人児童の作文力の特徴

・小学校終了時には「経験と感じ・考えをテキストで伝達する」力はJと同等に

・中～高学年にかけ、日本人に比べ遅れ気味

・学校・地域により低学年でJとの間に差

⇒作文力の発達の仕方の違い？

★多面的に分析し、作文力を総体を捉える

⇒ リテラシー発達のための支援

「出来事作文」という課題の問題

・書く意欲
・見られる力は限定



異なるテーマの作文の収集が必要